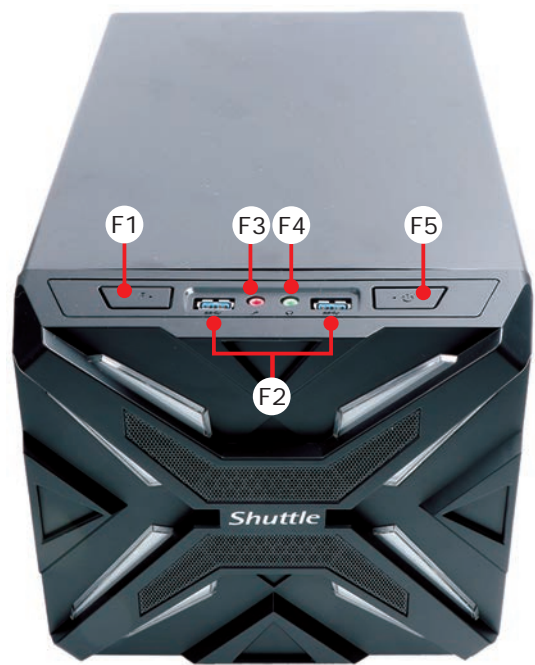


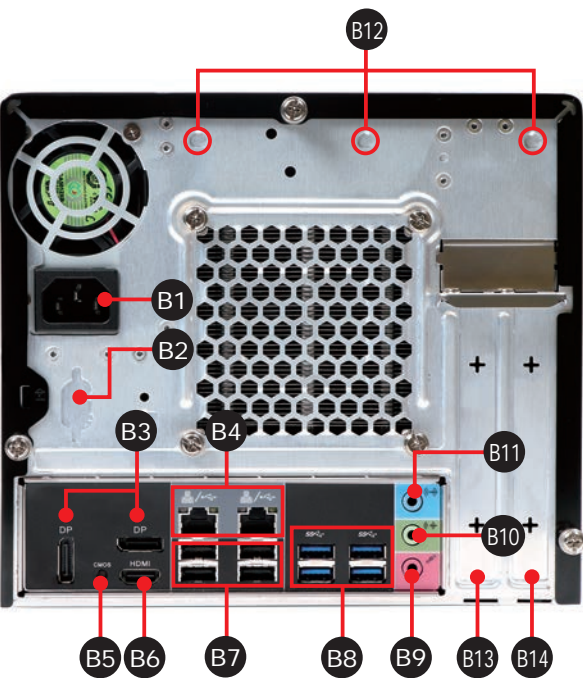
# SZ270R9 クイックガイド【日本語】

## 正面パネル



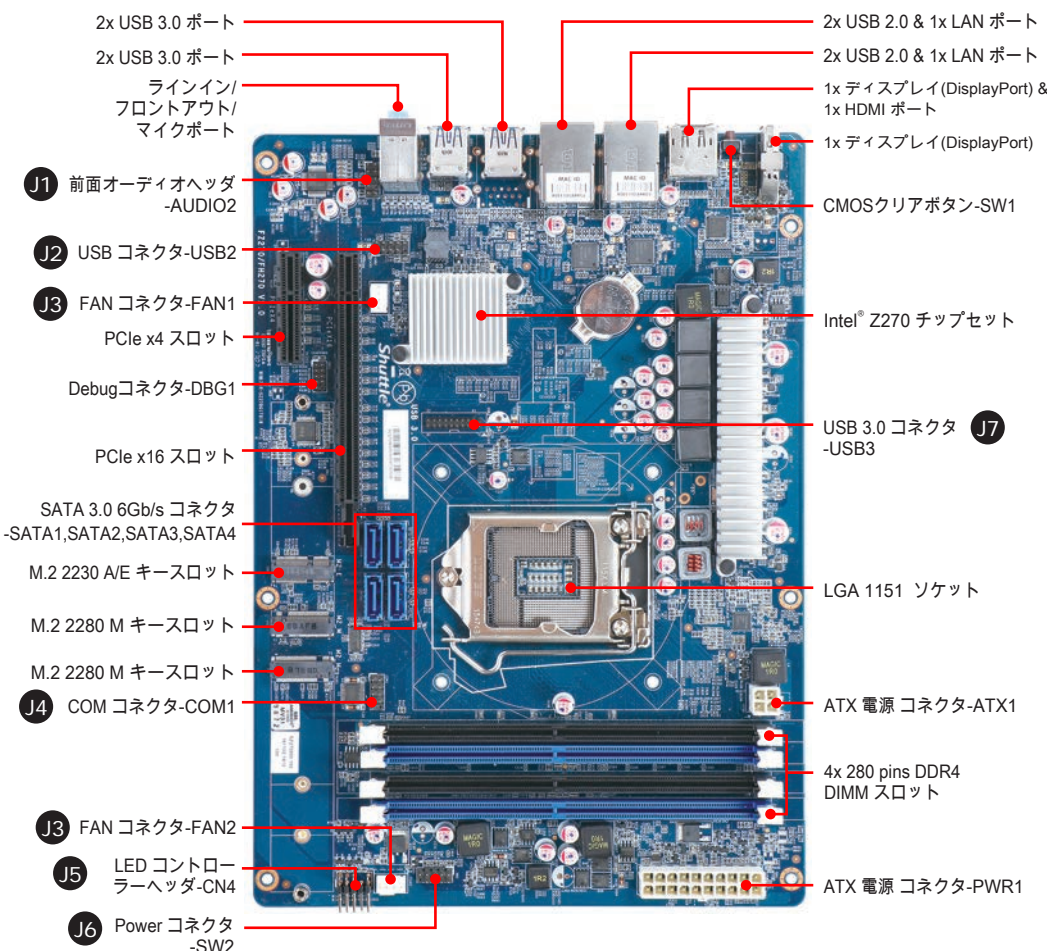
- F1. ターボボタン  
-XPC Overclocking ソフトウェアを公式サイトよりダウンロードし、インストールしてください。
- F2. USB 3.0 ポート
- F3. マイク
- F4. イヤホン
- F5. 電源スイッチ

## 背面パネル



- B1. AC 電源ソケット
- B2. シリアルポート追加用 (オプション)
- B3. ディスプレイポート (DisplayPort)
- B4. LAN ポート
- B5. クリアCMOSボタン
- B6. HDMI ポート
- B7. USB 2.0 ポート
- B8. USB 3.0 ポート
- B9. マイク イン ポート
- B10. フロントアウトポート
- B11. ライン イン ポート
- B12. ワイヤレスLANキット追加用 (オプション)
- B13. PCIe x16 スロット
- B14. PCIe x4 スロット

## メインボード図

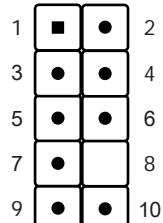


- J1 前面オーディオヘッダ -AUDIO2
- J2 USB コネクタ-USB2
- J3 FAN コネクタ-FAN1  
PCIe x4 スロット
- Debugコネクタ-DBG1
- PCIe x16 スロット
- SATA 3.0 6Gb/s コネクタ -SATA1,SATA2,SATA3,SATA4
- M.2 2230 A/E キースロット
- M.2 2280 M キースロット
- M.2 2280 M キースロット
- J4 COM コネクタ-COM1
- J5 LED コントローラーヘッダ-CN4
- J6 Power コネクタ-SW2
- 2x USB 3.0 ポート
- 2x USB 3.0 ポート
- ラインイン/フロントアウト/マイクポート
- 2x USB 2.0 & 1x LAN ポート
- 2x USB 2.0 & 1x LAN ポート
- 1x ディスプレイ(DisplayPort) & 1x HDMI ポート
- 1x ディスプレイ(DisplayPort)
- CMOSクリアボタン-SW1
- Intel® Z270 チップセット
- USB 3.0 コネクタ -USB3
- LGA 1151 ソケット
- ATX 電源 コネクタ-ATX1
- 4x 280 pins DDR4 DIMM スロット
- ATX 電源 コネクタ-PWR1

## ジャンパー設定

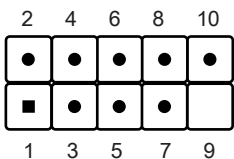
### J1 前面オーディオヘッダ (AUDIO2)

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1=MIC_L  | 2=GND          |
| 3=MIC_R  | 4=Front_Detect |
| 5=LINE_R | 6=Mic_detect   |
| 7=Sense  | 8=NULL         |
| 9=LINE_L | 10=Line_Detect |



### J2 USB コネクタ (USB2)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1=5V_USB  | 2=5V_USB  |
| 3=USB_A_N | 4=USB_B_N |
| 5=USB_A_P | 6=USB_B_P |
| 7=GND     | 8=GND     |
| 9=NULL    | 10=GND    |



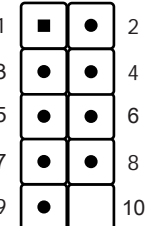
### J3 FAN コネクタ (FN1,FN2)

- |               |
|---------------|
| 1=Ground      |
| 2=+12V        |
| 3=SPEED_SENSE |
| 4=PWM_CTRL    |



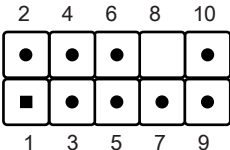
### J4 COM コネクタ (COM1)

- |       |         |
|-------|---------|
| 1=DCD | 2=RXD   |
| 3=TXD | 4=DTR   |
| 5=GND | 6=DSR   |
| 7=RTS | 8=CTS   |
| 9=-RI | 10=NULL |



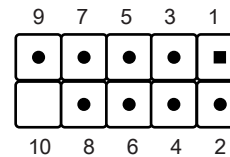
### J5 LED コントローラーヘッダ (CN4)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1=5V_DUAL     | 2=5V_DUAL  |
| 3=GP65_R9     | 4=GND      |
| 5=GND         | 6=OC_SW_CN |
| 7=SMBDATA_LED | 8=NULL     |
| 9=SMBCLK_LED  | 10=OC_LED  |



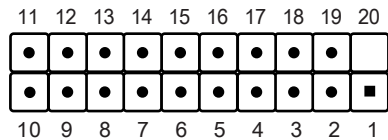
### J6 Power コネクタ (SW2)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1=+HD_LED | 2=PWR_LED |
| 3=-HD_LED | 4=GND     |
| 5=RST_SW  | 6=PWR_SW  |
| 7=GND     | 8=GND     |
| 9=NA      | 10=NULL   |



### J7 USB 3.0 コネクタ (USB3)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1=5VCC     | 2=A_RX_N   |
| 3=A_RX_P   | 4=GND      |
| 5=A_TX_N   | 6=A_TX_P   |
| 7=GND      | 8=A_USB_N  |
| 9=A_USB_P  | 10=NA      |
| 11=B_USB_P | 12=B_USB_N |
| 13=GND     | 14=B_TX_P  |
| 15=B_TX_N  | 16=GND     |
| 17=B_RX_P  | 18=B_RX_N  |
| 19=5VCC    | 20=NULL    |



### 安全に関する情報

Shuttle XPC. をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

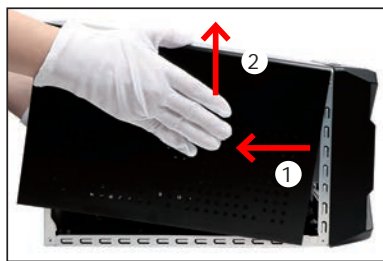
#### 注意

バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttleが推奨するバッテリーと同じもの、または同等のものだけを使用するようにして下さい。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分して下さい。

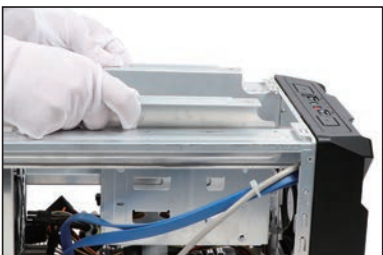
### A. 取り付けの開始

- 安全のため、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください

- シャーシカバーの3本のネジを抜きます。
- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。

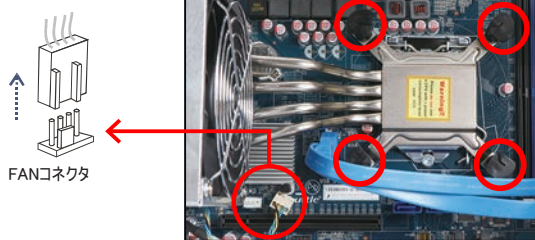


- マウンターのネジを緩めてシャーシから取り外して下さい。



### B. CPUとICEの取り付け

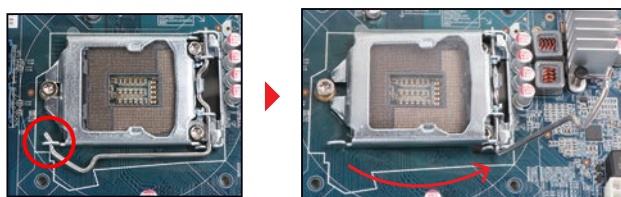
- シャーシ背面のICEファンのネジを外します。
- FANコネクタを取り外し、ICEモジュールにあるネジを外します。



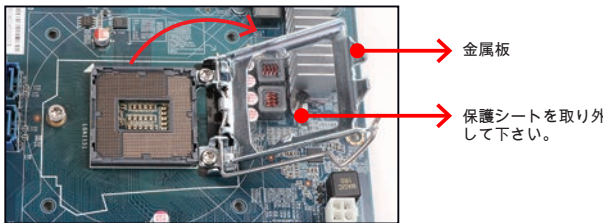
- ICEモジュールを引き上げるようにして取り外します。

- 1151 ピンソケットは非常にデリケートな為、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただく必要があります。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を確認して下さい。

- マザーボードのCPUソケットにCPUを取り付けるには、以下の手順に従って下さい。

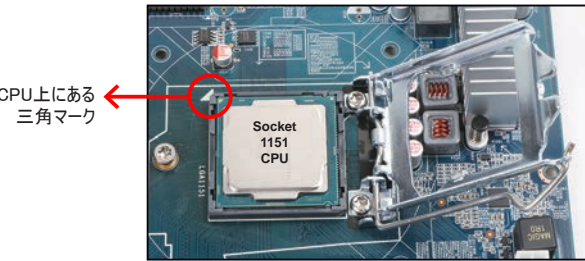


- 保護シートをCPU固定プレートから取り外して下さい。CPUソケットの金属製ロードプレートを持ち上げます。



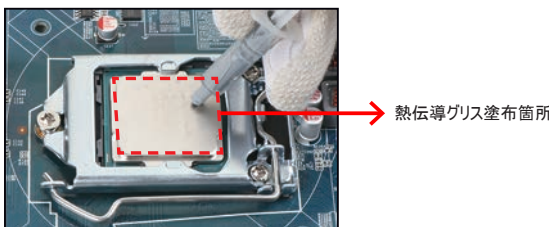
- ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護のためにプラスチックカバーを取り付けるようにお願い致します。

- CPUとつりつけの際は、CPU側の切り込みがソケット側と合うように、取り付けの向きを確認してから、取り付けて下さい。



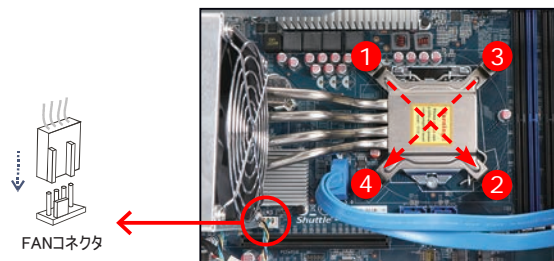
- CPUの設置には細心の注意をお願い致します。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

- 金属板を閉じ、レバーを下ろして固定します。
- CPUの表面に熱伝導グリスを塗布します。

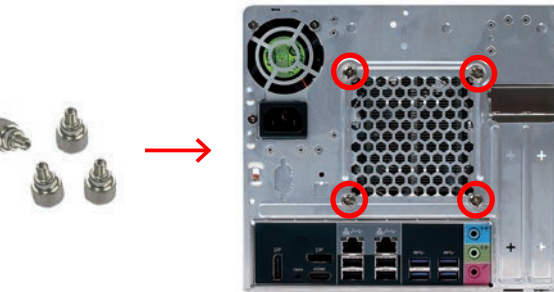


- 塗りすぎないように注意して下さい。

- ICEクーラーをCPUの上に置き、4つのピンを穴に合わせます。ピンが右に回っている状態であることを確認した上で、押し入れます。
- FANコネクタへコネクタを接続します。



- ケース背面の4つのネジを締めます。



### C. メモリーの取り付け

- ガイドライン  
メモリを取り付ける前に、必ずお読み下さい

- マザーボードに対応しているメモリーである事を確認して下さい。使用するメモリーは同一製品である事を推奨致します。(対応製品は弊社ウェブサイトでご確認下さい。)  
メモリーは、誤って押し入れない様に切り込みが入っています。もし上手く押し入れられない場合は、切り込みを確認してください。

- デュアルチャンネルメモリアクセス方式は、二つのメモリーデータバスを同時に使用してデータの読み書きを行うことによりアクセススピードを向上させます。デュアルチャンネルを有効にするには、以下の組み合わせでメモリーモジュールを装着します。

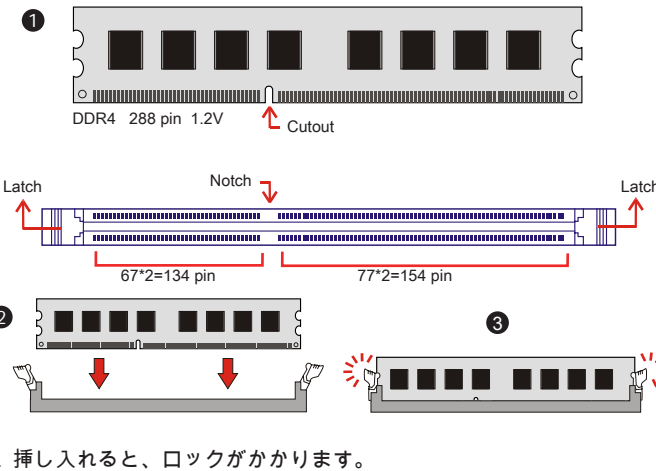


#### メモリーの取り付け

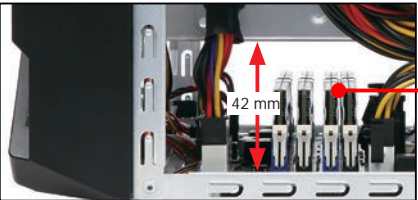
- DDR4とDDR3/DDR2 DIMMに互換性はありません。DDR4 DIMMがマザーボードに下記の手順通りソケットに入っている事を確認してください。

- DIMMのロックを外します。
- メモリーの切り込み位置を確認し、メモリーを押し入れます。

- DDR4 メモリーの向きを間違えると、押し入れる事はできません。



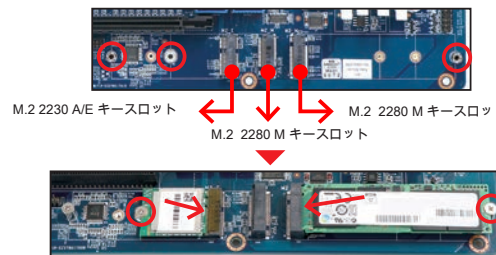
- 押し入れると、ロックがかかります。



- メモリーを追加する際は、同じ作業を繰り返して下さい。

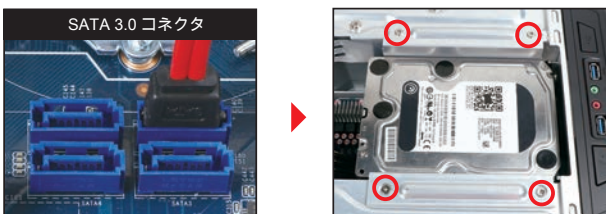
### D. M.2カードの設置について

- 図の示す通り。
- M.2カードをM.2スロットに差し込み、ネジで締めて固定します。

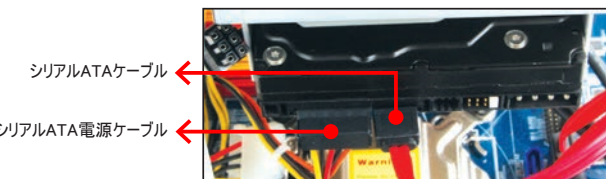


### E. ドライブの設置について

- 結束されているHDD電源ケーブルを取りだします。
- HDDをラックにマウントし、側面よりネジで締めて固定します。
- シリアルATAケーブルをマザーボードに取り付けて下さい。
- ベイマウントを取り付け、ネジを締めます。



- シリアルATAケーブルと電源ケーブルをHDDに接続します。



- 3.5インチHDDを上から順に取り付けて下さい。\*



- 2.5インチドライブは、標準で1基までラックの最低面に取り付けが可能です。さらに最大3台まで追加搭載可能ですが、オプション品PHD3が必要になります。

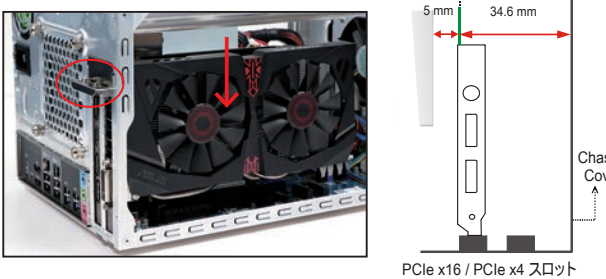
### F. グラフィックスカードの設置について

- ブラケットのネジを外します。ブラケット上部にある蓋を上げて、ブラケットを取り外します。

- 搭載可能なカードサイズは、267 mm x 120 mm x 34.6 mm までです。



- 図にある通り、PCIe x4 / PCI ex16 にビデオカードを押し入れて下さい。
- ブラケットを締めます。



### G. 完了

- カバーを戻し、ネジを締めます。
  - 完成です。
- Bios設定画面に入るには、電源ボタンを押して、Biosロゴ画面が出た時に「Delete」キーを押して下さい